

# 都 退 教 協 だ よ り

No.302号

2021年8月25日発行

東京都退職教職員協議会 会長 谷口 滋

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

## 都退教協第47回定期総会開催される！ 改憲阻止！平和・環境・生存権を守る！

7月7日(水)午後2時より、都退教協第47回定期総会が東京教組会議室において開催されました。コロナ禍で一ヶ月延期され、開催も危ぶまれましたが皆さんのご協力で開催することができました。

総会は、冒頭、この1年で亡くなられた会員のみなさん（伊藤悦子さん、細野健児さん、宮本秀夫さん、中村壽雄さん、柏原貢さん、秋田仁さん、及川輝治さん）のご冥福を祈り黙祷のあと佐久間忠夫議長の進行のもと、経過報告、決算、活動方針、予算が決定されました。

谷口会長は、都議会議員選挙で東京教組組織内候補の阿部祐美子さんの当選を報告するとともに、都退教協の皆さんのご支援に感謝するとともに、阿部さんの今後のご活躍を期待するとともに、秋の衆議院選挙、来年の参議院選挙では古賀ちかげさんの勝

利で安倍・菅政権を倒しましょうと挨拶しました。

活動方針論議では、コロナ禍で子どもたちも現職の教職員も大変な思いをしていることが報告されました。とりわけ、子どもたちの危険なオリンピック観戦中止について各地で都退教協会員の皆さんがとりくんだことが数多く報告されました。また、自民党の改憲4項目に「教育の無償化」があることに騙されてはいけない、福島の子もたちは今も外で遊べずスクールバスで統廃合された学校に通っている、昨年発足した南部教組も Web で執行委員会をやりコロナ禍のとりくみを進めているなど、活発な議論や報告がされました。

その後、2020年度の予算、役員選出、城田常任委員による総会宣言を満場一致で採択して成功裏に終了しました。

今年度もコロナ禍の影響で来賓をお呼びせずに開催されましたが、メッセージをお寄せいただき、多くの議論ができ有意義な総会になりました。

※総会宣言、来賓メッセージを次ページに掲載しました。



# 総 会 宣 言

新型コロナウイルス感染症の流行の中多くの人々が健康や命の不安を抱えています。昨年2月の安倍政権による突然の休校宣言に始まり、3度にわたる緊急事態宣言が出されました。不安を煽り個人の行動抑制を求めるばかりで、休業に伴う所得の補償がなされなかったり、医療体制の整備が進んでいなかったりで、社会全体に先が見えない状態が進行しています。

このような状況にも関わらず、東京オリンピック・パラリンピックが推し進められようとしています。今のような状況で子どもたちをオリパラ観戦に引率するなど、到底できるものではありません。隣の埼玉県では8割弱の学校が観戦をしないと決定しています。東京でも、目黒区を始めとする4区5市が観戦見送りを決定したことが明らかになっています。他地区でもこれに続く動きがあり、東京都の通知を待っている状況です。

安倍政権を継承する菅政権によって、生命・人権・民主主義がないがしろにされてきました。菅首相は桜を見る会も選挙違反に使われた1億5000万円も、日本学術会議の任命拒否問題も何ひとつ説明責任を果たしていません。更に新型コロナウイルスの緊急事態宣言等で職を失ったり貧困に陥ったりした人を助けるための施策が不十分なのに、重要土地調査規制法や国民投票法、デジタル庁監視

法などの悪法を次々と成立させました。立憲主義・平和主義・民主主義を破壊する憲法改悪を絶対に許してはなりません。

核兵器による大量虐殺、ヒロシマ・ナガサキを経験している日本。政府が核兵器禁止条約には向き合わず米国の核の傘に隠れてそれを是認しています。私達が生きているこの時代に条約の批准を実現し、核のない世界に向かって前進しましょう。

都議会議員選挙では組織内候補のあべ祐美子さんの初当選を勝ち取りました。引き続き、秋にも実施される総選挙で日政連議員候補を始めとした野党勢力の躍進を勝ち取り政権交代を目指しましょう。さらには、来年7月に行われる参議院選挙で日政連議員候補予定者の古賀ちかげさんの必勝をめざして取り組んでいきましょう。

本日私達は、ここに集い真摯な討論を重ね今年度の方針を確立しました。当面する政治課題を実現し高齢者が安心して暮らせる社会保障制度の改善要求や脱原発の闘いに全力で取り組みます。平和憲法を守り、全ての人々が支えあい、共に生きる社会の実現をめざし運動を進めていきましょう。

2021年7月7日

東京都退職教職員協議会 第47回定期総会

# 連帯メッセージ

東京都退職教職員協議会

会員のみなさま

日本退職教職員協議会

会長 竹田邦明

東京都退職教職員協議会のみなさまの活動に、心から敬意を表するとともに、日退教運動、部会活動をはじめ諸行動へのご協力に感謝いたします。

昨年初めからのコロナ禍は、日本社会の様々な矛盾や、制度の脆弱性をあぶりだしました。国民皆保険の医療制度(もちろん貧困故、国保未加入に置かれている人も決して少なくないのですが)に多くの国民は安心感を持っていましたが、公・民 1:4の医療提供体制はコロナ感染拡大に対応しきれず、自宅待機療養中になくなるというあつてはならない事態を招きました。これもこれまでの自民党政権による公切り捨て政策が招いたものといえます。コロナ禍は「政治禍」です。

今、政府は「東京オリ・パラ」開催にまっしぐらです。先の都議会議員選挙で都民から大きな不安、延期・中止の声があがっても聞こうとしません。沖縄で辺野古新基地建設反対の民意が繰り返し示されても引かない事態と同根といえます。コロナ治療薬「アビガン」の不承認や国産ワクチンの開発遅れ、福島原発事故汚染水からの「トリチウム除去技術」の導入消極的対応などなど、現政権のもつ「利権と結びついた意図的な政治構造」とみるのは行き過ぎでしょうか。元を辿れば震災復興がテーマだったオリンピック。今やすっかりそのイメージは吹き飛び、政府は「人類がコロナに打ち勝った証として(五輪を)実現する」と繰り返すようになりました。どのようになれば「打ち勝った証」かは言わず、開催すれば打ち勝った証という

のでしょうか。

コロナ禍で日本社会の遅れが明らかになり、デジタル化の流れは加速しています。骨太方針 2021 が明らかにされました。その中で「データヘルス改革」に関し「電子カルテの標準化」を進めるよう提言しています。高齢期を生きる私たちは医療・薬剤機関にかかる機会が多くなっています。「医師が診療する過程で、検査などのオーダーを出す」「過去の診療・検査データを閲覧・分析して最適な治療方針を決定する」「医事会計システムと連動し、迅速な会計処理を可能とする」などが示されていますが、集約された個人情報の使われ方に大きな危惧があるとともに、個人情報の漏洩や、命に関わる誤認など危険性にあふれています。当然システム開発には利権が絡むでしょう。注視が必要です。

公文書・データの改ざんが当たり前、「全世代型社会保障」の充実のためといって、「世代間対立」をあおるような政治を変えましょう。まずは「信頼できる政権」を作ることが重要です。この秋には衆議院選挙があります。そして来年夏の参議院選挙では日政連「古賀ちかげさん(比例)」の必勝を期したたかきましょう。

私たちは、退職者連合・地公退に結集し、仲間とともに声を上げ、運動にとりくみます。

貴退教のますますのご発展を祈念し、日退教運動へのさらなるご連帯をお願いし、総会にあたってのあいさつといたします。

2021年7月7日

# 連帯のメッセージ

東京都退職教職員協議会  
会員のみなさま

都高教退職者会  
会長 本村富美子

東京都退職教職員協議会の皆さまには、地域で教育や憲法、そして選挙活動などにとりくまれていることに、心から敬意を表します。

新型コロナ感染拡大は飲食・宿泊などサービス業の非正規労働者の雇用を直撃し、完全失業者だけでなく 146 万人にのぼる実質的失業者を生み出しています。特に女性への影響は深刻で、「女性による女性のための相談会」には多くの困窮した女性が訪れ、相談後には食料や衣類などを持ち帰っています。このような状況を聞くと、卒業した生徒たちの仕事は大丈夫なのか、生活はなりたっているのか心配になります。

第 204 国会では約 40 年ぶりに小学校全体で学級人数を 35 人に引き下げる改正案が成立しました。一步前進ではありますが、現場ではコロナ禍により教職員は通常の仕事以外に消毒作業・オンライン授業・生徒の心のケアなどを担い、疲労しきっています。オンライン授業による新たな教育格差の危険性もあります。教育現場のかかえる課題に私たちも目を向けていかなければなりません

また「重要土地調査規制法」が成立しました。この法案が、基地や原発に反対する運動や人々を規制する意図を持っているのは明白です。コロナ禍で県外からの支援が得られない中でも、沖縄の人々は非暴力で闘ってきました。戦争につながる新たな基地に反対し、平和を求めることが規制の対象になるのは許せません。都高教退職者会は毎年辺野古座り込みツアーを行い、沖縄と連帯してきました。これからもこの取り組みを続け、辺野古に新基地をつくらせない意思を明らかにしていきたいと思えます。

都退教協の皆さまとは、日退教運動や都退協運動や「花見の会」で、一緒に活動し、多くのことを学ばせていただきました。これからも都退教協のみなさまとのつながりを大切に、共に歩みたいと願っております。

貴退教のますますのご発展を祈念し、連帯の挨拶といたします。

2021 年 7 月 7 日

## 都退教協、第 47 回定期総会おめでとうございます

東京都交通局退職者会  
会長 山岸 皓

遅まきながらワクチン接種が始まりました。しかし、今再び、感染者数が高止まりから増加へ、デルタ株の感染拡大など第 5 次緊急事態宣言発令へ向かうのか懸念されています。世界では、高い感染者数が続く、ワクチン接種が進んだ国においても感染が拡大する傾向にあ

ります。ワクチン 2 回接種が済んだとしても、引き続きマスク・手洗いの生活を続けざるを得ないと思われれます。

こんな状況下で、菅政権は東京 2020 大会を強行しようとしています。アベノマスクの配布と同様、「大会を開催すればコロッと変

わる」と衆議院選挙を勝つために勝負に打って出たと言えます。大げさに言えば「国民の命」とひきかえに首相の座を求めて賭けに打って出たと言えないでしょうか。

コロナ禍の五輪開催は、オリンピックとは何かをまざまざと見せてくれました。国民・「アスリート」は二の次、お金ファーストの実態、群がる企業、安全安心は口だけ、例外また例外で原則は骨抜き、バブルは穴だらけ、感染拡大だけが国民に押し付けられるのではないのでしょうか。

エッセンシャルワーカーの献身的な努力と労働者同志の信頼・協力が、このコロナ禍の市民生活の根っこを支えていることを確認したいと思います。

安倍・菅と続く政権は、森・加計・桜の私物化、贈収賄・選挙違反、接待疑惑など腐敗ぶりは枚挙にいとまがありません。すでに信頼を

なくしている政権が、パンデミックに対して、責任回避・擦り合い、パフォーマンスばかりで無能無策ぶりを露呈しています。

しかし、コロナ禍の混乱を利用して、政府は、いわば火事場泥棒のように、「デジタル関連法案」「重要土地規制法案」を強行可決し、憲法改正して緊急事態条項をと発言、原発再稼働、辺野古新基地建設などを強引に進めています。私たちの大衆運動は一定停滞を余儀なくされましたが、休んでいるわけにもいきません。創意工夫を凝らして運動を前進させましょう。まずは、来る衆議院選挙を勝ち抜こうではありませんか。

貴退職者会が今総会の盛会とこれを契機にますますご発展されることを祈念して、メッセージといたします。

2021年7月

## 都議会議員選挙、あべ祐美子さん当選！ 三雲たかまささん、和田愛子さんは惜敗！

7月4日投開票の東京都議会議員選挙は、混迷を深める小池百合子知事の都政を問い、新型コロナ対策、東京オリンピック強硬開催など国民・都民の命をないがしろにする国政、都政への審判と位置付けられた選挙でした。都退教協は、阿部祐美子さん（品川区）、三雲崇正さん（新宿区）、和田愛子さん（足立区）を推薦してとりくみました。

コロナ禍で投票率は前回（51.28%）を大きく下回り42.40%と低迷しました。

その結果、阿部祐美子さんは低投票率の厳

しい選挙を勝ち抜き前回得票を2,500票上回る20,087票で見事にを果たし、東京教組の組織内都議会議員の8年ぶりに復活を果たしました。会員の皆様のご支援、ご協力、大変ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

三雲崇正さん（新宿区）は、わずか900票差で惜しくも次点。和田愛子さん（足立区）も次点でした。都議会議員の議席は、以下の通りになりました。

	自民	都民	公明	共産	立民	維新	ネット	無所属	計
新議席	33	31	23	19	15	1	1	4	127
改選前	25	46	23	18	7	1	1	5	126

# 格差と分断の社会から支えあう社会へ

東京都議会議員（品川区選出）

阿部祐美子

今夏の都議会議員選挙において、品川選挙区で初当選を果たさせていただいたことをご報告いたします。この都議選は、私にとっては2度目の挑戦。落選すれば引退もちらつく、まさに背水の陣でした。区議として5期目の任期中であり、リスクを冒して都議選に出るべきなのか逡巡を続け、告示2か月前の立候補表明で多くの皆様にご心配をおかけしたことをお詫びいたします。しかしそのような状況でも、都退教協や東京教組をはじめ、多くの方々に温かく、力強く応援の体制を組んでいただき、心から感謝しています。おかげさまで、品川区では馬場裕子元都議以来8年ぶりに、民主系の議席を取り戻すことができました。その重みをしっかりと受け止め、都議としての務めを果たしていきたいと思ひます。

都議会では、新人9人を含む立憲民主党所



属議員15人で「都議会立憲民主党」という会派を組み、私は副政務調査会長を務めることになりました。第5会派という少数会派ではありますが、政策面で存在感を出していきたいと思ひます。

さて、都議としての任期は7月23日にスタートし、初日に臨時会が開かれました。議会の承認なく専決処分補正予算を繰り返す都政に対し、専決の報告を求めて会期延長をもとめたものの、反対多数で否決。議論を避ける古い都議会の体質を目の当たりにし、議会改革への思いを新たにしました。

東京都では、オリンピックの開催と並行して、コロナ感染が急拡大しています。そしてコロナ禍は、子どもや女性をはじめとした社会の弱い部分により大きな影を落としています。この現実を踏まえ、まずはコロナ対策、そして子どもや女性、高齢者をとりまく課題に力を入れていく所存です。コロナ禍での教育格差の拡大への対応や夜間定時制高校の存続、児童相談所の移管や社会的養護の充実、若年層の自殺対策、ひとり親家庭や女性支援、DV等への対策強化と性教育の推進、介護分野ではヤングケアラーの実態把握をはじめとするケアラー支援、高齢者の住居問題や一人暮らし高齢者の保証人問題等々、取り組みたい課題は山積しています。一つ一つ、着実に成果を上げていけるよう、ぜひ皆様方のご助言をお願いいたします。

最後になりますが、今年は秋に衆院選、来年には参院選が控えています。政権の迷走ぶりが顕著になる中、格差と分断の社会から支えあう社会への転換を目指して選挙戦を戦っていきますので、さらなるご支援をお願いいたします。

# いのちと暮らしを守る政治の実現を！

参議院議員（愛知県選挙区選出）の斎藤嘉隆（さいとう よしたか）です。日政連議員としてお支えいただき2期12年目の活動を進めています。都退教協の皆さんの、長年にわたる真摯なお取り組みに心より敬意を表します。

先日、感染拡大が続く中で行われた東京オリンピックが終了しました。しかし、東京を中心に全国的に新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。医療体制についても、専門家や現場からは「すでに危機的状況」「すでに医療崩壊」との警告が発せられています。私は、立憲民主党の文部科学部会長として、オリンピック開催前から文部科学省を始め厚生労働省・内閣府オリパラ事務局等と、感染拡大防止策の徹底、学校観戦プログラムの中止等について何度も交渉や申し入れを行ってきました。改善された点も少なからずあるものの、オリンピック関係者を完全に分離する「バブル方式」には「穴」があったと言わざるを得ませんし、そもそも国民に自粛を呼びかけている中での開催には無理があったと考えます。しっかりした検証が今後必要だと思います。

東京での緊急事態宣言が予定通り8月31日まで続いた場合、2021年1月1日から8月末までの243日のうち、83.1%にあたる202日が緊急事態宣言下にあることとなります。緊急事態宣言下での教育活動の継続にあたり、現職の教職員の皆さんを始めとする教育関係者のご苦勞は、筆舌に尽くしがたいものがあったと思います。子どもたちが安心・安全な環境のもとで学ぶことができるよう、引

き続き政府への提言・要請を継続してまいります。

東京都が発表した近時の年代別感染者数では、20代と30代の感染者が全体の半数以上を占め、若い世代を中心に感染が拡大していることがうかがえます。一方で、このような状況にあっても20代・30代の内閣支持率は、他の世代と比べ高いという調査があり、政治の実態や感染症の問題が若い世代にしっかりと伝わっていないという懸念があります。私たちも、感染症の予防を真剣に呼びかけるとともに、この状況を招いた政府の責任をしっかりと訴えていかねばならないと考えています。

コロナ感染症対策の他にも、私の政治家としてのライフワークである学費負担の軽減（奨学金の充実）や、教職員定数の改善（35人学級実現）、児童交通安全確保など、実現した政策もあるものの課題も多く残っています。退職された教職員の方の生活を支える年金や健康・医療の制度の充実も図っていかねばなりません。

今後もより一層皆さんの声を届け、命と暮らしを守る政治の実現に努力していきます。変わらぬご支援・ご教示賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



日教組出身の国会議員（日政連議員）からのメッセージを会報で紹介してきました。今回は参議院議員の斎藤嘉隆さんです。愛知県教組の委員長もされ、教育政策の専門家として国会で活躍されています。

## 会費・カンパを振り込んでいただき、ありがとうございます。

### 会費を納入してくださった方々（敬称略）

工藤亜祖臣、牛丸教子、関川俊一、鈴木達哉、浅川謙司、依田倫子、本多啓三、  
田島久士、大日向宏、飛田邦子、新井栄子、

### カンパしてくださった方々（敬称略）

浅川謙司、田島久士、大日向宏、

・6月16日以降 8月20日現在

## ひとこと

田島久士 なつかしいお名前を見て、大変うれしく思いました。

大日向宏 老人会の会報づくりをはじめて20年になります。

## 亡くなられた会員

及川輝治さん（4月）、

馬庭恒夫さん（7月31日）

ご冥福をお祈りいたします

## 編集後記

- ◇ 例年開催している都高退と共催の囲碁大会を9月に会場も借りて準備していましたが、コロナ感染拡大により中止を余儀なくされました。楽しみにしていた皆さん申し訳ありません。来年に希望をつなぎたいと思います。
- ◇ 鎌倉にお住いの会員、中村光夫さんが、昨年、市庁舎移転、住民投票条例、ゴミの処理計画などについて市議会議員にアンケートをとり、その結果をチラシにして4万枚、全戸配布。市議会議員選挙にもとりくんだ報告をくださいました。中村さんは、「鎌倉をただの観光都市から文化都市にすべきだ！世界に通用する鎌倉に再生する鎌倉ルネサンス運動を開始したい！」とアピールしたそうです。
- ◇ 私たちは今、二つの緊急事態宣言下で命と暮らしを脅かされている。新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言は、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、京都、大阪、兵庫、福岡、沖縄が9月12日まで発令され、爆発的な感染者増で医療崩壊になっている。一方、原子力緊急事態宣言は、10年たっても廃炉と汚染物質処理のメドも立たず避難者は数万人を超えている。「復興オリンピック」「新型コロナに打ち勝った証としてオリパラ実施」と嘯いた安倍晋三、森喜朗、菅義偉の狙いが利権と政権浮揚にスポーツを利用したことは明らかである。金メダルを齧った河村などかわいいものである、二つの緊急事態宣言下にオリパラで日本中を食い散らかし、あわよくば憲法に緊急事態条項を入れようとする輩に鉄槌を下す秋にしたい。
- ◇ 訃報でお知らせした及川さん、馬庭さんの思い出は尽きない。及川さんは都教組執行部で活躍され、囲碁大会にも毎年元気なお姿を見せてくれました。馬庭さんは、職場の先輩として職場づくりの基礎を教わるとともに、囲碁、飲み会、旅行などたくさん遊んでいただきました。ご冥福をお祈りいたします。（谷口記）